

株AIST SolutionsにおけるTechnology×Marketingを通じたスタートアップ創出・成長支援事業*

Business to Support Creation and Growth of Startups through Technology and Marketing at AIST Solutions Co.

玉置 広志¹⁾
Hiroshi Tamaoki

AIST Solutions Co. (AISol), a subsidiary of the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST), is actively supporting the creation of startups based on AIST's applied research and the growth of startups with ties to AIST, with the aim of creating a National Unicorn. As of November 2024, five companies have been certified as AISol startups, and to support creation and growth of Startups is being provided with a focus on technology and marketing.

KEY WORDS Continuous Production, Polymer Material Startups, Incubation, Marketing, Accelerator, Unicorn

1 はじめに

株AIST Solutions(以下、AISol)は、2023年度4月に国立研究開発法人産業技術総合研究所(以下、産総研)技術の社会実装を加速する目的で設立された。七つの事業領域(図1)を定め、国内最大級の国立研究開発法人である産総研研究者をベースにした技術と200人にも及ぶAISolのマーケティングをベースにしたマーケティングをベースに、Technology×Marketingのコンセプトのもと、①民間事業者との共同研究コーディネーション、②産総研技術資産提供、③社会解決型のバリューチェーン構築、④スタートアップ創出支援の四つの事業を展開している。

産総研におけるベンチャー/スタートアップ支援の歴史は長く、産総研設立の翌年である2002年に他の研究機関に先駆けて開始された。産総研技術移転ベンチャー支援制度のもと、20年間で155社の産総研技術を基盤にしたベンチャーを創出したが、IPO(Initial Public Offering, 新規株式公開)したのは3社と少なく、株式上場時初値での時価総額も30億円、45億円、208億円と大き

くはなかった。

日本政府が2022年を「スタートアップ創出元年」と位置づけ(スタートアップ：イノベーションと革新性にフォーカスし、短期間で急成長を目指す企業)、ユニコーン企業(評価額が10億ドル以上、設立10年以内の非上場のスタートアップ)の創出を目標にしたことを踏まえ、AISol創業を機に、2023年4月よりAISolのスタートアップ創出・成長支援事業を新規に開始した。

2 AISolのスタートアップ創出・成長支援事業内容

産総研の重点事業領域は、AI・半導体、デジタルプラットフォーム、エネルギーソリューション、サーキュラーエコノミー

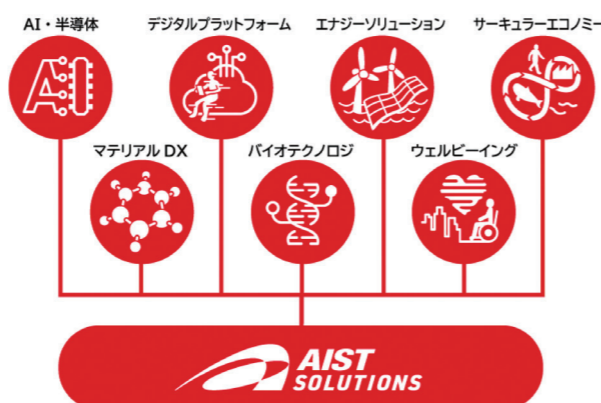


図1 AISolの重点事業領域

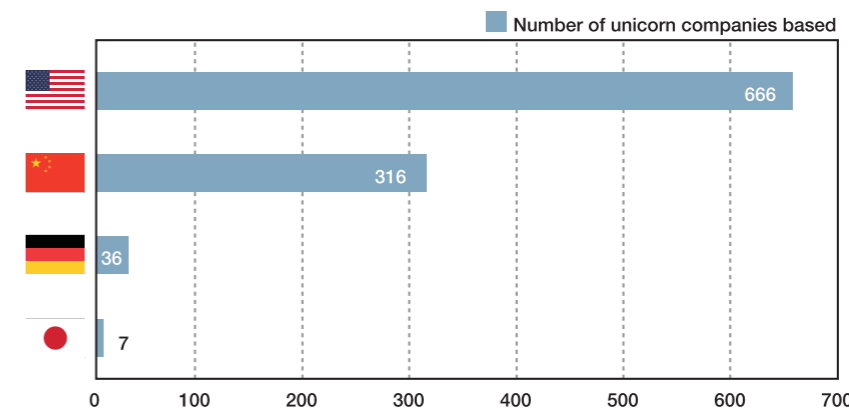


図2 国別のユニコーン創出数⁽¹⁾ (As of 2022/12/31)

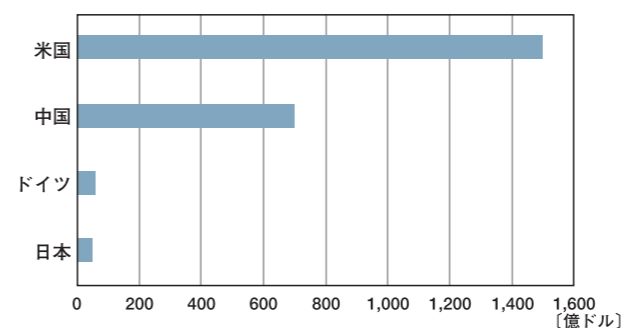


図3 2020年の国別 Venture Capital 投資額⁽²⁾

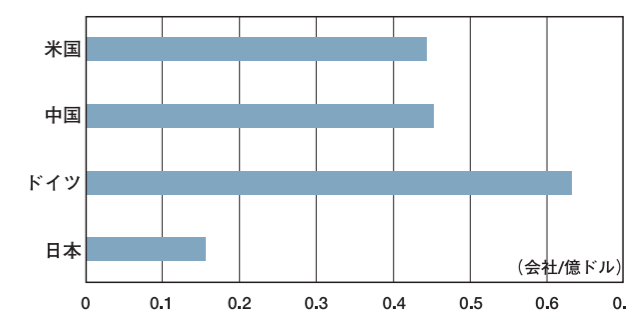


図4 国別の Venture Capital 投資額に対するユニコーン数 (図2, 図3より加工)

くはなかった。この状況を踏まえ、AISolのスタートアップ創出・成長支援事業では、産総研グループと連携するスタートアップから National Unicorn 創出を目標とするスタートアップの創出を促し、National Unicorn 創出するスタートアップの創出を促し、イノベーションを推進し、スタートアップの成長を支援している。

産総研の重点事業領域である AISol の重点事業領域は、産総研でも重要な領域であり、この領域で創出されるスタートアップを National Unicorn としている。その中でも AI・半導体、デジタルプラットフォーム、バイオ、サステナブルの領域をスタートアップ創出・成長支援の重点領域としている。

産総研の重点事業領域である AISol の重点事業領域は、産総研でも重要な領域であり、この領域で創出されるスタートアップを National Unicorn としている。その中でも AI・半導体、デジタルプラットフォーム、バイオ、サステナブルの領域をスタートアップ創出・成長支援の重点領域としている。

産総研のスタートアップ創出・成長支援事業

スタートアップ創出・成長支援に関して、AISolは産総研の産総研/産総研をベースにしたスタートアップ創出支援事業(インキュベーター機能)と産総研と連携するスタートアップの成長支援事業(アクセラレータ機能)の2つを推進している。産総研にそれぞれの機能の推進をスタートアップの成長レベル(Technology Readiness Level)、投資レベルを促すとともに、それぞれの機能の推進の具体的な内容も提供している。

① スタートアップ創出支援事業(インキュベーター機能) 産総研の2023年に他の研究機関に先駆けて創設された産総研ベンチャー支援制度の創出を促すためのスタートアップ創出支援事業(アクセラレータ、Venture Capital 投資 VCI, Corporate Venture Capital 投資 CVC)等)からの創出を促すから、産総研の産総研/産総研をベースにしたスタートアップ創出の推進に貢献している。下記図表があると考えている。

② 産総研ベンチャー創出、産総研ベンチャー創出の推進に貢献している。産総研の産総研